

アイソバン実験室 (RI ラボコンテナ)

利用の手引き

独立行政法人 海洋研究開発機構

目 次

1. はじめに
2. 使用可能核種等
3. 利用条件
4. アイソバン実験室配置図
5. その他

1. はじめに

アイソバン実験室は、非密封放射性同位元素の使用に係る可搬式の管理区域（20 フィート船用コンテナ）です。なお、海洋調査船「なつしま」、支援母船「よこすか」、深海調査研究船「かいいい」に設置可能です。

また、本書は作成時点のシステムに対する利用の手引きであり、機器、オペレーション要領などの変更により、実際と異なる場合があります。事前に JAMSTEC と連絡を取り確認して下さい。JAMSTEC の連絡窓口は次のとおりです。

連絡窓口：海洋工学センター 研究船運航部 運航グループ
住所：〒237-0061 神奈川県横須賀市夏島町 2 番地 15 号
電話：046-867-3811（代表）
ダイヤルイン 046-867-9913、9914、9916、9917
電子メール：sod-rsd@jamstec.go.jp
ファクシミリ：046-867-9915（運航グループ直通）
ホームページ：<http://www.jamstec.go.jp/>

2. 使用可能核種等

表 1 に、使用可能な核種、数量、目的および方法をまとめます。また、使用可能な数量については前後の使用状況等により変動するため、調整が必要であることをご承知おき下さい。

3. 利用条件

アイソバン実験室のご利用にあたっては、以下の事項を遵守頂くことが前提となっております。ご不明な点がございましたら、上記連絡窓口まで連絡して下さい。

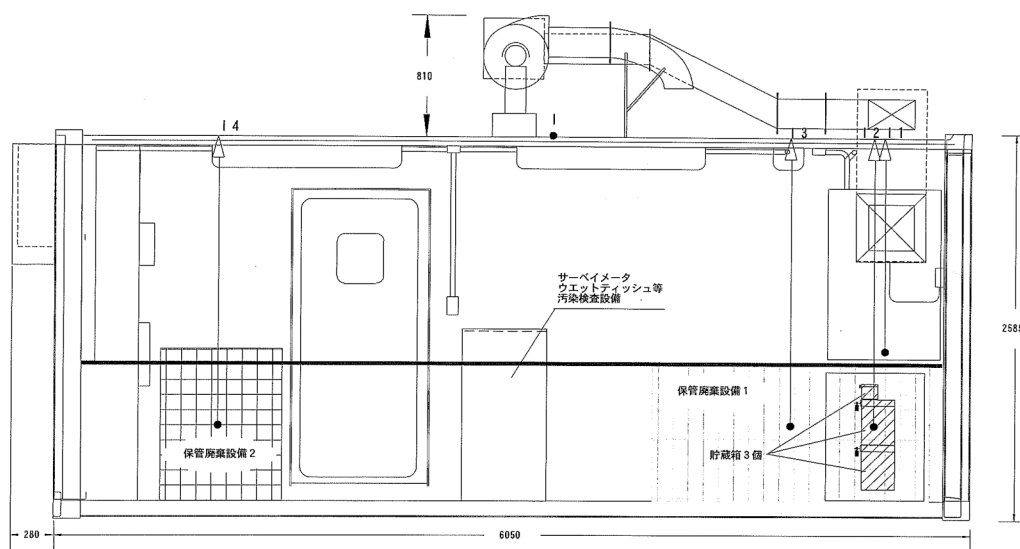
- (1) 所属機関の放射性業務従事者であること。
- (2) JAMSTEC が適宜実施する教育訓練（放射線障害予防規程、30 分、他）を乗船前に必ず受講すること。
- (3) 利用にあたり、第一種放射線取扱主任免状を有する者を利用者が用意し、当該期間の間乗船させること。
- (4) 放射性同位元素は自ら用意すること。
- (5) アイソバン実験室でのみ使用すること。

表 1 アイソバン実験室で使用可能な核種の条件

密封されていない放射性同位元素				
核種	C-14		H-3	S-35
	物理的状態	固体・液体	気体	固体・液体
化学形態等	すべての化合物			
年間使用数量	900MBq	90MBq (注1)	740MBq	740MBq
3月間使用数量	450MBq	40MBq (注1)	370MBq	370MBq
1日最大使用数量	222MBq	20MBq (注1)	185MBq	185MBq
使用の目的	生体機能及び化学分析法に関する研究			
使用の方法	トレーサー			

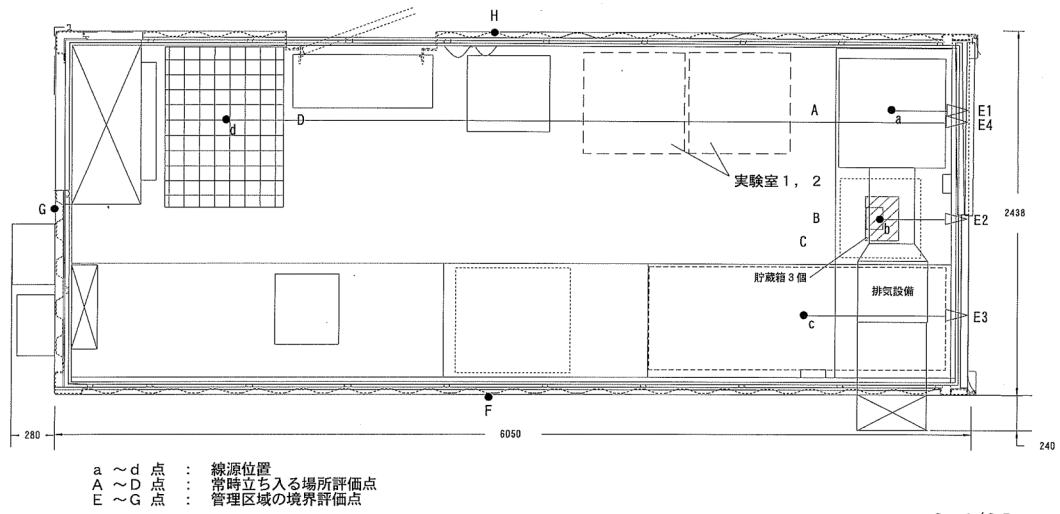
(注1) アイソバン実験室における気体 C-14 の使用数量はアイソバン実験室における固体・液体の C-14 の使用数量の内数である。

4. アイソバン実験室配置図



I 点 : 管理区域の境界評価点

S : 1 / 2 5



5. その他

(1) 緊急時

放射性核種に限らず、化学物質等の取り扱いには十分な注意をお願い致します。また、機器等に異常が生じた場合には、速やかに本船側に連絡をして下さい。

(2) 消耗品

観測時に必要な消耗品については、使用者にご負担頂くことがございます。詳細については、運航グループにお問い合わせ下さい。